

医人伝

全身を激痛が襲い、痛みで髪や爪も切れない。日常生活が困難なほどの疲労感が半年以上続く。前者は線維筋痛症、後者は慢性疲労症候群(CFS)の主な症状だ。併発する人も多い。その両方の患者と医療者で昨年結成したのが富山県高岡市の「NPO法人えがお」。線維筋痛症を患いながら理事長を務める。

同市出身。東京で外資系IT企業の営業職として働いていた二〇一一年ごろから、胸の辺りをこん棒で突かれるような、ガラスの破片で引っかかれるような痛みに襲われ始めた。しかし、当時は毎週、海外出張があるほど忙しかった。悩みながらも仕事を優先。はり治療に通うのが精いっぱいだった。

痛みは徐々にひどくなり、二

年後には我慢できないほどに

ありとあらゆる総合病院に向

き、画像・血液検査、磁気共鳴

画像装置(MRI)で診てもら

NPO法人えがお(富山県高岡市)

理事長 **鳥井 謙祐**さん(46)

線維筋痛症仲間と活動

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)

(柘原由紀)



「現実的な活動にフォーカスしている」と話す鳥井謙祐さん(富山県高岡市)